

第34回

KYOのあけぼの フェスティバル 2022

知ること未来が変わるきっかけに ~SDGs~

報告書

2022年

11月22日(火)

10:30-15:00

京都府総合見本市会館

(京都パルスプラザ)京都市伏見区竹田鳥羽殿町5

[主催]

KYOのあけぼのフェスティバル実行委員会・京都府・京都府男女共同参画センター なら京都

海外研修KYOのあけぼの会

京都女性スポーツの会

京都府商工会女性部連合会

京都府生活研究グループ連絡協議会

京都府連合婦人会

部落解放同盟京都府連合会女性部

(一社)京都市地域女性連合会

京都府更生保護女性連盟

京都府食生活改善推進員連絡協議会

(福)京都府母子寡婦福祉連合会

国際ソロプチミスト京都近郊8クラブ

JA京都府女性組織協議会

京都商工会議所女性会

京都府商工会議所女性会連合会

京都府女性の船「ステップあけぼの」

京都府民生児童委員協議会

国際ゾンタ京都Iゾンタクラブ、京都IIゾンタクラブ

(五十音順)(実行委員会構成団体:17団体)

Contents

▪ プログラム	01
▪ 主催者挨拶	02
▪ 京都府知事 西脇 隆俊	
▪ KYOのあけぼのフェスティバル実行委員会委員長 田中 田鶴子	
▪ 京都府あけぼの賞表彰式	04
▪ 講演	06
「チャンスの贈与-タンザニア商人たちの将来への備え方」	
講師:立命館大学大学院先端総合学術研究科教授 小川 さやか氏	
▪ パネル展示	13
▪ スタンプラリー	14
▪ ワークショップ	15
▪ あけぼのバザール	18
▪ 広報物・看板等	21

第34回 *Kyo*のあけぼのフェスティバル2022

知ること未来が変わるきっかけに～SDGs～

男女が社会の対等な構成員として、様々な活動に参画し、輝くことができる男女共同参画社会の実現をめざして、平成元年からKYOのあけぼのフェスティバルを開催しています。34回目となる今年、「知ること未来が変わるきっかけに～SDGs～」をテーマに実施し、京都府あけぼの賞表彰式では、様々な分野での先駆的な活動で功績の著しい、京都にゆかりのある女性5名と1団体に表彰状と副賞が贈られました。

また、講演では、立命館大学大学院先端総合学術研究科教授 小川 さやか氏をお招きし、「SDGs」をテーマに世界各地でのフィールドワークを通じてアフリカの人々の独自の経済活動を研究されてきたご経験などをお話いただきました。

さらに、新型コロナウイルス感染症拡大により2年前から中止していたワークショップとバザールも今回は感染対策を講じた上で実施するとともに、男女共同参画の推進に関する展示も行い、府内地域間の交流・ネットワークの拡大や男女共同参画に対する理解の促進を図ることができました。

Program

10:30 - 10:50 式典

10:50 - 11:30 京都府あけぼの賞表彰式

11:30 - 12:30 講演 「チャンスの贈与-タンザニア商人たちの将来への備え方」

11:10 - 15:00 あけぼのバザール

13:30 - 15:00 ワークショップ

参加者: 510名

主催者挨拶

京都府知事

西脇 隆俊

Nishiwaki Takatoshi



本日、「第34回 KYOのあけぼのフェスティバル2022」が、多くの皆様の御参加のもと、開催できますことに心から感謝申し上げます。

また、本フェスティバルの開催にあたり御尽力いただきました田中実行委員長をはじめ、実行委員会の皆様、関係の皆様には厚く御礼を申し上げます。

まず、新型コロナウイルス感染症につきましては、緩やかながら増加傾向が続いておりますが、今は感染防止と社会経済活動を両立する時でございます。日常を取り戻していくためにも、引き続きの感染防止対策への御協力をお願いいたします。

改めまして、本日「京都府あけぼの賞」を受賞される5名、1団体の皆様、誠にありがとうございます。この賞は、男女共同参画による豊かな地域社会の創造を目指して、各分野の第一線で御活躍され、素晴らしい功績を挙げられました皆様に顕彰するものでございます。皆様のこれまでの御功績、また御努力に対し深く敬意を表しますとともに、今後の益々の御活躍を心からお祈り申し上げます。

さて、今年のフェスティバルでは、「知ることで未来が変わるきっかけに～SDGs～」をテーマに、立命館大学大学院先端総合学術研究科 小川 さやか教授に御講演いただきますとともに、3年ぶりにワークショップやバザールを開催することといたしております。

本日お集まりの皆様には、ぜひ多くの企画に御参加いただき、誰もが主役となって輝ける社会づくりについて考えるきっかけにいただければ幸いです。

現在、京都府では「京都府総合計画」の見直しを1年前倒しで進めており、それを府政運営の羅針盤として、人と人の触れ合いや絆、地域との繋がりを大切にする「あたたかい京都づくり」を進めてまいります。その中で、性別にかかわらず誰もが自らの意思で社会参加できる社会を目指して、多様化する生き方や各ライフステージに応じたきめ細かな支援にも努めてまいりたいと思っておりますので、皆様の引き続きの御理解、御支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たり、このフェスティバルをきっかけに男女共同参画社会の更なる推進に繋がること、そして御列席の皆様の御健勝、御多幸を心から祈念いたしまして、開会の挨拶とさせていただきます。

KYOのあけぼのフェスティバル
実行委員会委員長

田中 田鶴子

Tanaka Tazuko



本日は「第34回 KYOのあけぼのフェスティバル2022」を開催いたしましたところ、御来賓の皆様方をはじめ多くの方々にお集まりをいただき、誠にありがとうございます。平成元年から始まった本フェスティバルが、34回目を迎えますこと、ひとえに皆様の御支援・御協力のお蔭でございます。

さて、新型コロナウイルスは発生が確認されてから3年近く経つ中、未だに予断を許さない状況でございます。このような中、私たちは感染予防を日常生活に取り入れ、困難を乗り越えるため、力を合わせなければなりません。その思いを持って今年度のあけぼのフェスティバルは2年前から中止いたしておりましたワークショップとバザールなどを開催させていただくことといたしました。皆様の御協力により、このように開催できましたこと、心から感謝申し上げます。

そして、本日栄えある「京都府あけぼの賞」を受賞されます皆様方、心からお祝い申し上げます。今年度も、各分野で先進的に活躍され、第一線で輝いておられる女性の皆様、その御功績により表彰の栄に浴され、今後一層の御活躍が期待されるところでございます。改めまして、心から御受賞をお慶び申し上げます。

今年度は、「知ることによって未来が変わるきっかけに～SDGs～」をテーマに、立命館大学大学院 教授 小川 さやか様をお招きし、タンザニア商人たちから学ぶ「加速化する気候変動やコロナ禍など既存の常識が当てはまらない現代で生き抜いていく術」についてお話しいたします。

また、先ほど申し上げましたとおり、女性の活躍について情報発信する女性団体等による工夫を凝らした参加型ワークショップを実施いたします。

さらに、京都府産の新鮮野菜や手作り品が販売されるバザールを開催するとともに、例年好評いただいておりますスタンプラリーも実施いたします。

これからの新しい時代において、一人ひとりが家庭や地域、職場において輝くことができる男女共同参画社会の実現に向けて、新しい一歩を踏み出される契機となれば、大変嬉しく思います。

最後になりましたが、今年度も、多くの企業・団体の方々に御協賛をいただき、KYOのあけぼのフェスティバルがこのように盛大に開催できましたことに御礼申し上げまして私のあいさつとさせていただきます。